新春座談会

地域における分館活動の課題と役割

館長…皆さん、明けましておめでとうございます。

小学校の統合によって分館活動の重要性が考えられますが、今までと全く違った体制の中で今年から積極的な活動のとり組みが期待され、そして村民から理解をしていただき、参加していただかねばなりません。そこで当面する分館活動の中心的課題は何か、主眼とする役割は何かを論じていただければありがたいと思います。テーマは「地域における分館活動の課題と役割」ということでご発言を願います。

先ず、各分館の運営体制の現状等からお話しを。

とにかく集りを井戸端会議のふんいきで

中川…どの分館とも同じだと思いますが、学校統合前は先生に頼りきっており、またPTA等で学校とのかかわりは深かったし、分館活動の内容とは別に集りがよかったようです。今度学校がなくなってからは、地域独自の体制で運営していますが、事務的なことや組織体制等が十分でないせいか仲々人の集りがよくありません。まだ分館活動が理解されないことや、時代の変化もあると思いますが、集っても関心が乏しいようですね。私は婦人学級等は井戸端会議の延長といった堅苦しくない雰囲気で運営を図っていき、集りをよくしたいと考えています。とにかく適当な指導者がいないので、本館から週一回位主事さんの出張を願って運営の援助を得たいところです。

初心に帰ってPRを　心と人とのふれあいを

高橋(悦)…中川さんのいうとおり学校が主、分館が従であった。いいかえれば補助機関のようでしたね。今度完全に独立し主役の座にのし上ったわけですから、今までの分館がこれでよかったかどうか村民が公民館をどう理解しているのか、その辺が問題でしょうね。今更おそいかも知れませんが初心に帰って、公民館とは何ぞや、という問題を反省しPRをすべきではないでしょうか。

館長…まことに大事なことだと思いますね。本当の意味の分館活動、公民館活動という理解で集ったものではなかったということですね。今後理解を高めてゆくことが重要でしょうね。

宇野…木津も小杉、沢海と同様でした。今度分館は一人立ちすることになり、今までのように事業が順調にやっていけるか心配されていましたが、分館主事と管理体制が一体的に確立されていますので非常にスムースに運営されています。事業等を見ますと、たいていのものは協力的ですが、お義理的に参加している人もかなりあると聞きますので、アンケート調査をして分館活動の参考にしたいと思ってます。

佐藤…分館等に不案内の私は、公民館活動は一体どうあるべきか。先ず人から集ってもらうことを一番に考えてゆくことから始めるべきと思い卒業された人達は、学校が心のよりどころでもあるので、それを利用されやすい場所としての分館であることが一番先決だと思います。それから分館主事の立場になる上は、民踊教室に飛び込んで自からもおどる気分で、各団体と気軽につきあうことが大切だと思いますね。

昨年四月からの分館の利用状況をみますと、実に一七〇回に昇る会合等が開かれており、利用団体は青年、婦人、PTA、互助会、消防団、大字、青少年等々十一団体の外双葉保育園、外部団体講習会等で非常によく利用されたといえます。又、毎週土曜日は児童に全館解放していること文化祭や運動会、野球大会を催したこと等々は、自負していいと思います。特に野球チームが六チームできたことは青少年の健全育成に大きいしげきだと思いますね。

館長…木津分館は体制もできて、大変結構な事業を活発に運営され感謝に堪えない次第でございます。横越分館は如何でしょうか。

指導者の発掘を

高橋(良)…横越の場合は、地域独自で青年団、婦人会、文化団体等の協力を得て運営しております。事業の実施は分館主事の活躍に負う面が多くあり、青少年スポーツ指導等は地道に実施しています。私が分館長になって一番苦労しているのが人集めの問題ですね。もっと地域に密着した分館活動をするためには、指導者が不足であり指導者の発掘、養成が先決のような気がします。地域社会は、自分達がつくるんだ、大勢が参加できる分館活動にと、思ってますがね。社会教育も学校教育と同じ位大事なことですから国でも村でももっと予算をつけ、その重要性を認識してもらわねばならんと思います。

館長…いろいろ各分館の状況をお話しいただきましたが学校があった頃は子供にかまけて集りもよかったが、学校がなくなったら集りが悪くなった点、むしろ先生より分館主事の方が親しみがあって集りやすい。又、行事等には義理ででていること等いろいろ問題点はありますが、最近各分館とも婦人講座が盛んになっておりますがどうですか。

山崎…横越の分館長さんがいわれました指導者の発掘と養成のことは、とっても賛成です。各層の組織をしっかりつくってそれらを対象に中央でリーダー研修を行ない、受けた研修は自分一人に留めないで、地域に帰って活動につなげていくことがとても大事なことと思います。

小杉にも婦人学級があって分館長さんも熱心ですので前より集りやすくなっていますが、だけどそこに集る人自身の考えのもち方に問題があるようです。自分の研修なのに頼まれて義理で出席している面がみられます。もっと組織づくりをしっかりと進めていけば運営も楽にいけるのでないでしょうか。

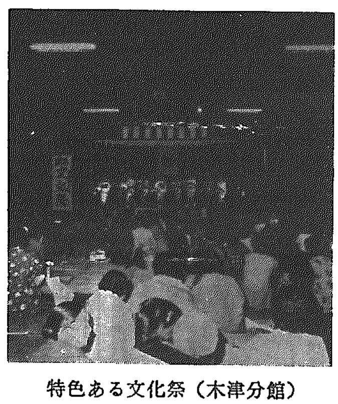
小林…今までの分館活動は学校が中心でしたけれども、沢海では今習字教室が開かれていますが、若い人からお年よりまで非常に巾広い習字教室で今では五十名を超えています。教室が狭くて入りたい希望者をことわっている状態ですから、参加する皆さんは非常に喜んでいます。

PTAの会合に学校へいくと、統合されて大きく立派になったが、人と人とのふれあう機会が以前より少なくなってきていますので、やっぱり各地域の分館活動でなるべくいろいろの人が集合できるような会合をつくってもらうことが、分館活動に必要だなあと思います。

館長…やること自体より人間の心のふれあいをということですね。

桜井…私は藤山ですが、小杉分館は他の分館と違いまして、小杉、藤山、駒込の三部落に分かれていますので、分館長さんは運営に苦労が多いと思いますけれど、今年の場合は分館長さんがよくリードして下さいましたので問題はありませんでした。先程から集りが悪くては、どうにもならないということですが、私達は先ず、何をやった方がよいか前もって十分話しあって、皆さんの納得のいくところで運営しています。

館長…藤山、駒込は小杉分館から離れていて会合には不便な面がおありですね。今までいろいろな話しがでましたが、社会教育委員、運審委員として、坪谷さんどうぞ。



特色ある文化祭（木津分館）

青少年の非行化防止は　地域の改善で

坪谷(フ)…趣味的なものに関しましては、さほど本館や分館や主事さんが苦労なさらなくとも集ってきて、しかもそれが活発に運営される方向なんですね、ただこれからの本館、分館の役割は、そこに集ってこない人達をどうするのか、これが分館、本館の役割だと思うのです。

私のお願いですが、指導者の発掘に分館ももっと力をそそいでほしい、勿論本館でも全村を対象にした学習会を盛んにしてほしい、それが骨になるのではないでしょうか。

館長…指導者の発掘、地域の振興、そういうものが必要である。趣味的なものについては自主的活動にもっていけたら、そういうことでしょうか運審の委員長、神田さんはどうでしょうか。

神田…昨年、ヨーロッパの青少年の実情を見てきましたので分館につなげて話してみたいと思います。今さかんに指導者の話がでていますが、要約しますと、分館に公的な機関で主事を置くということが一番大切なんですね。もう一つは民間の指導者を発掘利用する。この二つがうまくかみ合っていかねばダメなんですねえ。たまたまイギリスでみたのですが、ようするにいくら青少年を健全に育成するといっても特効薬がないということです。年々非行化するしだんだん低年令化し、悪質化になってくる、これを解決するにはなにかというと、地域ぐるみで解決するしかないということですね。いくら青少年自身をよくすると言っても決めては地域がよくならなければ、そういう発想からコミニュティ作り、地域の推進をこれからよくやっていかなければならないということを盛んにいっていましたので、さっきの話にもどりますが、これからは分館を拠点に地域を良くするということで全精力をかたむけたらいいんじゃないですか。

坪谷(孝)…社会教育委員を二年やらせてもらい、三市中蒲、下越、県大会等会議に出席させていただきましたが、いまここで話合いされているようなものを大きくしたような問題がどこの会でもいわれています。やはり問題になるのは、勤労青少年をいかにしたらよいか、その他では公民館職員が少なすぎる。もう少し行政面から活発にしてほしいということですね。

館長…今後の分館活動に対する要望、あり方をお話しいただいたわけですが、その中で基本的なことは、一般の村民から公民館活動を認識いただくことが第一のようですしそのためには人的体制を整えるのが重要、そして地域の中で指導者を発掘していく、そういう点で分館の体制を整備していくことが大切なのではないか。そして地域の人が喜んで集ってくる、集りの中で地域の人達のふれあい、そういうものをもつことが必要なのではないか。とくに今日、助役さんからで出席いただいたわけですが、助役さんは私達の村の社会教育の草分けであり、社会教育に対するご努力をなされ、その当時から有名な方です。助役さんから今迄お話をお聞きいただきましたことがらについてお話をお伺いしたいと思いますが。

地域性ある活動を　基本は地域づくり

助役…私が公民館に務めさせてもらいました時、いつも声を大にして申し上げていたのは、施設、人、予算、この三本が絶対欠かせないんだということは、公民館が出来た時からの課題です。今座談会の中で、分館活動をどう発展させどう考えるか、この中心課題の要因の中で、前の経験をふまえて、統合小学校下における村の中において、又社会教育の組み立て方の中で、分館活動をどう考えたらいいのか、前の分館活動を私も承知しておりますが、前の分館活動は、各小学校におんぶして運営していましたが、今後こういうことが全くなくなりそのあとはどうしたらよいか当時、学校の建築に入る前に村の八〇数名の学校統合調査委員の方々はまとまったものとして、それは今後横越村の総合教育計画の中で組立て、万遺漏なきを期してほしいという意見がついて統合の方針が出来た。それを受けまして教育委員会や、行政当局が願においてそのへんから分館におけるものをどう発展させなければならないのか、まあその中で人の問題では、非常に行政的ないい方でございますけれども、公費でご用意申し上げている公民館主事、社会教育主事です。その他の指導者はボランティア、民間の指導者です。

特に分館の場合、つねづね考えているのですが民間の指導者というと力が非常に強い。この民間の指導者と行政が一体となって、相互に啓発しながらサービスを展開する。

もう一つは、分館はきわめて身近な問題、これをどうとらえるか、文化的なもの、教養的なものはある程度順次プランを立てて用意すれば、比較的可能性が強いと思うのです。地域づくりと分館とはどうなるのか、地域作りの中で婦人としての家庭生活をどう計画し、従事し、あんばいをし計画を立てるか、きわめて基本的なものをどうするのかこれらを総合させたものが地域づくりだろうと思います。

館長…さてそこで、今後の横越村の分館活動は何を中心にやっていけばよいか、ということをこれからお話していただきたいと思います。さっきの話と重複してもよいですが。

坪谷(フ)…横越村の四つの分館は地域性があると思うのです。各分館はそういうことをふまえていろんなアイデアを考えて消化していったらどうでしょうか。それぞれの分館で、それぞれ考えてやっていった方が発展するんではないでしょうか。

館長…各分館活動は地域性を考慮してやっていくべきだということで今後分館として何を為すべきか如何でしょうか。

主事管理体制の強化を　グループの育成を

助役…公民館の分館をどう発展させるか、もう一度公民館運動の認識から出発することが大事で、これが地域との結びつきに最大の要望であり基本だと思いますね。本館が支給する経費は最低保障の意味で、それから発展させるのは地域そのものであるという考え方に立って、ここ2～3年はとり組む必要があるのでないでしょうか。

坪谷(フ)…木津では公民館運動といわれるようなものが

談会
席者
助役　建部利彦
公民館長（司会）　田中都郎
小杉分館長
木津分館主事
中川栄
佐藤千代志
文化団体会長
体育協会理事
渡辺一